

生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～



#16 【ほんの些細なことが・・・】

新年度が始まって1週間が過ぎました。先生方には、昨年9月に作成した『『呉市立中学校におけるいじめ問題等事案に関する調査報告書』の調査結果を受けた再発防止策』の具体的な取組の一つとして、「いじめの積極的な認知」に向けて取り組んでいただいております。

その結果、令和5年度はいじめの認知件数（暫定値）は、

- ◇ 小学校：243件（前年度比3.3倍、170件増加）
 - ◇ 中学校：116件（前年度比2.2倍、63件増加）
- となっております。

いじめの認知にあたっては、深刻ないじめを認知することはもちろん、初期段階のものも認知することが重要です。過去のいじめ事案を見ると、いじめはほんの些細なこと（いじりだから…、じゃれ合いだから…、一回きりだから…）から予期せぬ方向に推移し、自殺等の重大な事態に至ることもあるのが現実です。そのため、初期段階のいじめであっても、あるいは一回限りのいじめであっても、学校が組織として把握し（いじめの認知）、見守り、必要に応じて指導し、解決につなげることが重要です。

このような過去の教訓を重く受け止めた結果、「いじめ防止対策推進法」第2条の「いじめの定義」が作られました。年度初めに、今一度このことを再認識し、児童生徒の様子を把握していきましょう。

令和6年4月16日（火）

呉市教育委員会 学校安全課 生徒指導グループ



